

# 短期予報解説資料 2017年3月21日15時40分発表

気象庁 予報部

## 1. 実況上の着目点

①500hPa5400～5580m 付近のトラフが西日本・東日本を東進。トラフに対応した、発達中の低気圧が日本の南を東北東進している。西日本から東北地方にかけての広い範囲で5～15mm/h程度の降水を解析。

②500hPa5280m 付近のトラフが沿海州を東進。トラフ対応の低気圧が日本海北部を東進しており、低気圧から南にシアーラインがのびている。

## 2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

①1項①の低気圧は急速に発達しながら東に進み、21日夕方にかけて最大風速40kt[GW]級の勢力で伊豆諸島付近を通過。21日夜以降、日本の東で最大風速50～60kt[SW]級の勢力となる。低気圧の通過後は、高気圧が大陸から張り出し、日本付近は気圧の傾きが大きい状態となる。22日にかけて、全国的に強風や高波に注意。

②1項①の低気圧や前線に向かって850hPaの相当温位321K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となる。東日本の太平洋側では22日明け方まで落雷や突風、短時間強雨に注意。850hPaで0℃以下の寒気が西日本・東日本に留まるため、東日本・北日本の標高の高い所では降雪が続く見込み。低気圧が伊豆諸島を通過後、下層寒気移流が次第に強まり、22日朝には850hPaの-6℃線が北陸地方・関東甲信地方まで南下する。

③1項②の低気圧は、23日にかけて、日本海北部・北海道付近をゆっくり東進。北日本では、低気圧からのびるシアーラインが接近・通過する22日朝まで落雷や突風に注意。22日は北日本に500hPaで-33℃以下、23日には-36℃以下の寒気が流入する。21日夜から22日にかけて、北日本を中心に大雪やふぶきによる交通障害に注意。低気圧周辺では23日にかけて強風や高波に注意。

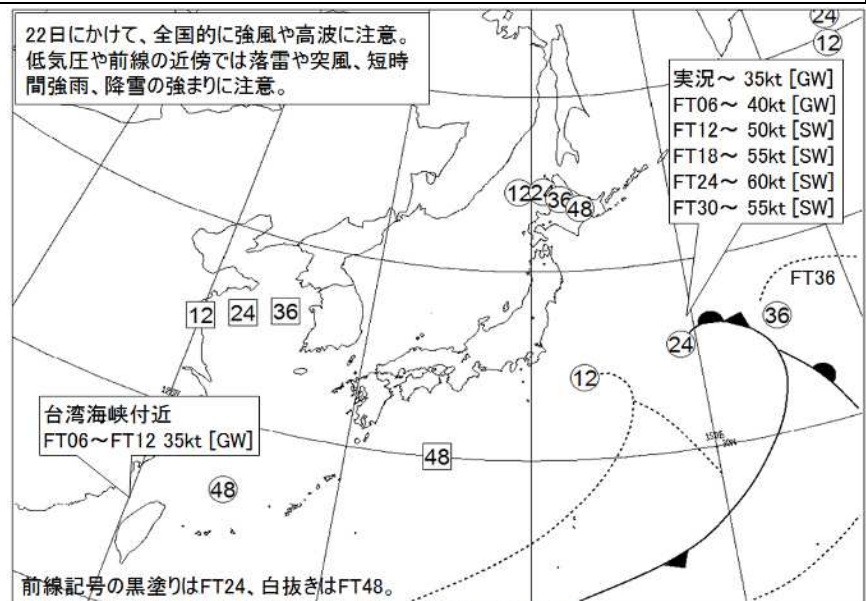
④23日朝には500hPa5760m付近のトラフに対応した低気圧が東シナ海で発生する見込み。低気圧に向かって850hPaの相当温位327K以上の下層暖湿気が流入し、23日は降水域が奄美地方・沖縄地方に広がる見込み。落雷や突風、短時間強雨に留意。

## 3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場は最新GSMを基本とし、降水の分布・強度・種別や風はMSMを参考にする。

**4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]** ①大雨・大雪ポテンシャル(18時からの24時間):[雨]高い所(100mm以上)はないが、2項の短時間強雨に注意。[雪]北海道30、北陸・関東甲信25、東北・東海20cm。②波浪(明日まで):伊豆諸島5、その他広い範囲で3～4m。

**5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はありません。



主要じょう乱解説図